

静岡県で採集されたタニヨウジ

加藤 健一

Kenichi Kato: Record of a Freshwater Pipefish, *Microphis (Lophocampus) retzii* (Bleeker), from Shizuoka Prefecture, Japan

はじめに

タニヨウジ *Microphis (Lophocampus) retzii* (Bleeker, 1856) は、河川の淡水域に生息する体長約 10cm のヨウジウオ科テングヨウジ属の魚類である (Dawson, 1984; Yoshino & Yoshigou, 1998; 中坊編, 2000)。国外ではインドネシア、フィリピンなどの西部太平洋域に生息し、国内では沖縄県西表島でのみ確認されている (Dawson, 1984, 1985; Yoshino & Yoshigou, 1998; 瀬能, 2000)。

今回、筆者は、静岡県の伊豆半島南東部に位置する河津町の河津川河口域において魚類調査を行い、本種を採集した。本種はこれまで沖縄県での確認例しかなく (Yoshino & Yoshigou, 1998; 瀬能, 2000)、本稿が静岡県における初記録であるとともに、分布の北限を大きく更新するものであるため、ここに報告する。

本稿で使用した種の標準和名及び学名は、中坊編 (2000) に従った。

方 法

2008 年 9 月 26 日に、静岡県賀茂郡河津町の河津川の河口から約 0.6km の地点 (図 1) においてタモ網 (口径 35cm, 目合い 2mm) を用いた魚類採集を行った。調査時の水温は 25.8℃であった。

得られた個体は 10%ホルマリン液で固定した後、70%エタノールに移し、室内で各部の計測、計数を行った。計測及び計数は中坊編 (2000) に従い、計測にはノギスを用いて 0.1mm まで計測した。なお、本個体は神奈川県立生命の星・地球博物館登録標本 (KPM-NI) として登録及び保管されている。

結 果

タニヨウジ *Microphis (Lophocampus) retzii* (Bleeker) (図 2)

標本番号 KPM-NI 22691, 1 個体, 全長 94.0mm, 標準体長 89.9mm, 2008 年 9 月 26 日, 静岡県賀茂郡河津町谷津, 河津川水系河津川館橋上流, 加藤健一採集。

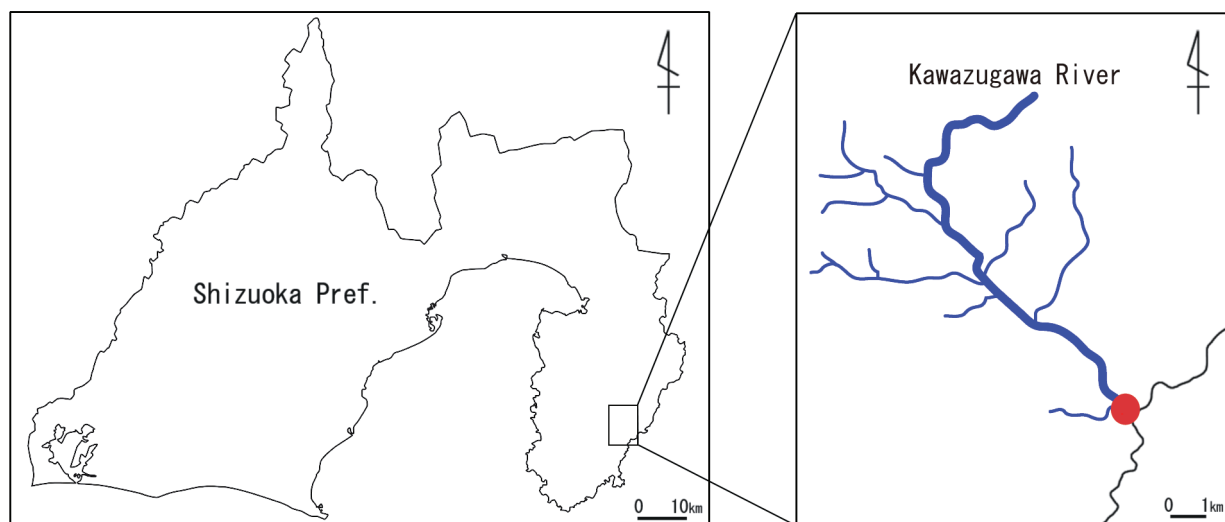


図 1. 採集地点の位置図. ●: 採集地点.



図 2. タニヨウジ *Microphis (Lophocampus) retzii* (Bleeker). KPM-NI 22691 (94.0mmTL, 89.9mmSL).

記 載

背鰭 33 軟条, 臀鰭 3 軟条, 胸鰭 17 軟条, 尾鰭 9 軟条, 体輪数 15+28。軀幹部と尾部の上隆起線及び下隆起線は不連続。主鰓蓋骨の縦走隆起線は明瞭。尾鰭を除く尾部は軀幹部より長い。

生息状況

採集地は河津川河口から約 0.6km 上流に位置し, 岸際にツルヨシが生育している右岸岸際であった (34°44'45"N, 138°59'37"E)。川底は礫からなり, 干潮時には早瀬状になる。採集場所の上流約 100m の河津川右岸には, 温排水が流入している支流谷津川が合流している。なお, 魚類調査時には, 同地点からウナギ *Anguilla japonica*, オイカワ *Zacco platypus*, テングヨウジ *Microphis (Oostethus) brachyurus brachyurus*, イッセンヨウジ *Microphis (Coelonotus) leiasps*, シマイサキ *Rhyncopelates oxyrhynchus*, チチブモドキ *Eleotris acanthopoma*, テンジクカワアナゴ *Eleotris fuscus*, ボウズハゼ *Sicyopterus japonicus*, ヒナハゼ *Redigobius bikolanus*, ミミズハゼ *Luciogobius guttatus*, ゴクラクハゼ *Rhinogobius giurinus* が採集された。

考 察

採集個体は, 軀幹部と尾部の上隆起線及び下隆起線が不連続であること, 主鰓蓋骨の隆起線が発達し, その下に明瞭な縦走隆起線があること, 尾部が長く尾輪数が 28 であること, 吻が短いこと, 背鰭軟条数が 33 であることから, Dawson (1984), 瀬能 (2000) のタニヨウジの特徴とおおむね一致した。本種は, これまで国内においては沖縄県の西表島からのみ確認されている (Yoshino & Yoshigou, 1998)。今回の確認は静岡県初記録であるとともに, 本種の分布の北限を大幅に更新するものである。しかしわずか 1 個体の確認にとどまり, 県内において再生産しているか否かは不明である。

本種は環境省レッドリスト (環境省自然環境局野生生物課, 2007) において「絶滅危惧 IA 類 (CR)」に選定されている。

静岡県沿岸域は黒潮の影響を強く受ける地域であり, 静岡県の河川河口域では南方系の水生生物が多数確認

されている (板井編, 1982; 金川, 1985; 今井ほか, 2002; 北野ほか, 2002; 静岡県自然環境調査委員会編, 2004; 北原, 2006, 2008a, 2008b)。今回確認されたタニヨウジも沖縄県以南に分布の主体がある南方系の魚類であり, 黒潮により運ばれてきたと推測される。これまで本種が沖縄県以外から報告されていなかったのは, 本種の生息域が西部太平洋域にあり, 国内における生息数が少ないために九州以北へ分散する個体数も少なく, 九州以北に到達する個体が稀であると思われること, また, 本種は南方系の種であり, 九州以北では越冬できないために採集できる季節が限られ, 採集が困難であったことなどが考えられる。しかし今回静岡県で採集されたことから, 今後同様に黒潮の影響を強く受ける四国や紀伊半島などにおいても本種の確認が期待される。

謝 辞

本稿をまとめるにあたり, 瀬能 宏氏 (神奈川県立生命の星・地球博物館) には標本の登録および管理をお願いした。この場を借り篤く御礼申し上げる。

引用文献

- Dawson, C. E., 1984. Revision of the genus *Microphis* Kaup (Pisces: Syngnathidae). *Bulletin of Marine Science*, 35(2): 117-181.
- Dawson, C. E., 1985. Indo-Pacific pipefishes (Red Sea to the Americas). 230pp. Gulf Coast Research Laboratory, Ocean Springs, Mississippi.
- 今井 正・北野 忠・小宮暢子・梅木康太郎・米田 透・秋山信彦, 2002. 伊豆半島で採集されたコンジテンナガエビ. 神奈川自然保全研究会報告書, (16): 23-26.
- 板井隆彦編, 1982. 静岡県の淡水魚類—静岡県の自然環境シリーズ—. 208pp. 第一法規出版, 東京.
- 金川直幸, 1985. 静岡県におけるヒナハゼの分布について. 淡水魚, (11): 155-157.
- 環境省自然環境局野生生物課, 2007. 哺乳類, 汽水・淡水魚類, 昆虫類, 貝類, 植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて. Online. Available from internet: <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8648> (downloaded on 2009-10-11).

- 北原佳郎, 2006. 静岡県庵原川河口で採集されたガンテンイシヨウジ. 兵庫陸水生物, (58): 103-105.
- 北原佳郎, 2008a. 静岡県伊豆地域青野川で採集されたカワヨウジ. 兵庫陸水生物, (60): 139-142.
- 北原佳郎, 2008b. 静岡県伊豆地域初記録の魚類. 南紀生物, 50(1): 85-90.
- 北野 忠・畠山 類・米田 透, 2002. 静岡県南伊豆町と河津町で採集されたフネアマガイ. 神奈川自然保全研究会報告書, (16): 35-36.
- 中坊徹次編, 2000. 日本産魚類検索 全種の同定 第二版. 1748pp. 東海大学出版会, 東京.
- 瀬能 宏, 2000. ヨウジウオ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索 全種の同定 第二版, pp.520-536, 1509-1515. 東海大学出版会, 東京.
- 静岡県自然環境調査委員会編, 2004. まもりたい静岡県の野生生物—県版レッドデータブック—〈動物編〉. 351pp. 羽衣出版, 静岡.
- Yoshino T. & H. Yoshigou, 1998. First records of two freshwater pipefishes of the genus *Microphis* (Syngnathiiformes: Syngnathidae) from Japan. *Ichthyological Research*, 45(2): 201-204.

加藤健一：株式会社 環境アセスメントセンター